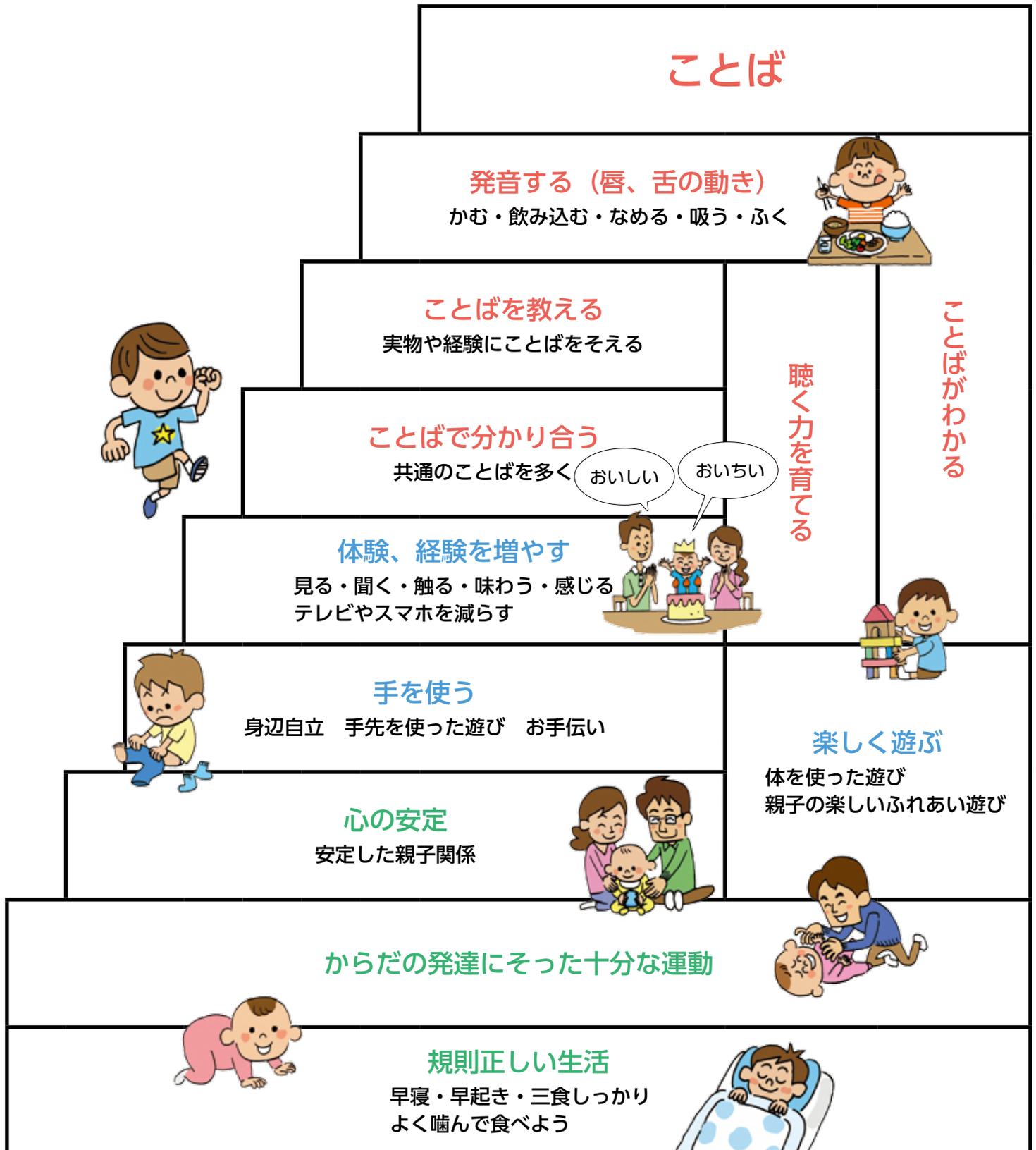


ことばについて

ことばが言えるようになるためには、何が必要なのかをビルで表しています。
ことばが言えるは、ビルの最上階！
ビルは、下の階から発達の順序を追って、積み上がっていきます。



引用文献：中川信子著「子どものこころとことばの育ち」

「ことばをかけて」「話しかけて」 って、どうするの？



① お世話しながら話しかけましょう

パンツをはかせながら、「はい、上手にはけたね」

② 体の動きに合わせて声をかけましょう

ごはんを食べさせながら「お口、あーん」「もぐもぐ」「おいしいね」「大きいお口が開いたね」

③ 擬声語、擬態語をたくさん使いましょう。

ボール遊びで「いくよ、コロコロ」「ポーン」

④ あいさつをしましょう

「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」

⑤ 動作の始まりや終わりにことばをかけて、区切りをつけましょう

「おもちゃ片づけよう、ごはんにするよ」「ごちそうさまでした。お皿を片づけようね」

⑥ こどもの興味にあわせて声をかけましょう

犬を見て「ワンワンだね、大きいね」「しっぽを振っているね」「かわいいね」

⑦ こどもの気持ちを口に出して言ってあげましょう

「痛いね」「○○したかったね」「上手にできてうれしいね」「困ったね」



テレビやスマホの長時間の使用は避けましょう。 2歳まではテレビやスマホは必要ありません。

テレビ・スマホは1日2時間まで

- 例) ● 30分つけたら、30分消す
● つけっぱなしにしない
● 集中して遊んでいるときは消す
● 授乳・食事中は消す

やってみよう！

テレビやスマホの
上手なつかい方

- ・決めたテレビを見る。
- ・始まるテレビを待つことで生活リズムをつける。
- ・「○○見るまでに起きる。」「○○見たら、次はごはんだよ。」
- ・親子で見て、一緒に歌ったり、踊ったり、会話をしたりして楽しみましょう。
- ・テレビのチャンネル権、スマホの所有権は親が持つことが大切。
- ・もっと見たくても、「ダメなものはダメだよ。」と伝え、我慢する力をつける。

